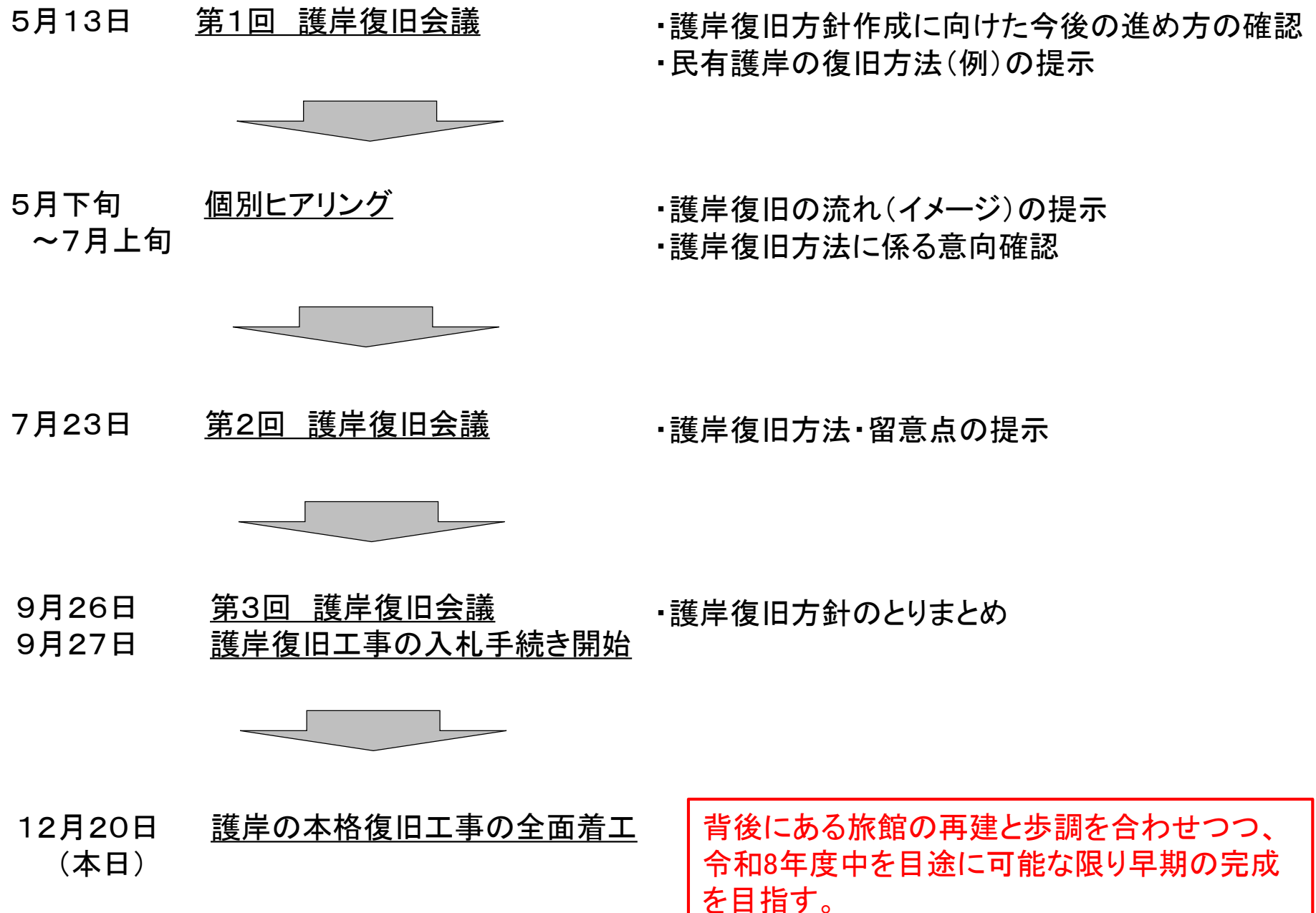




護岸復旧のポイント

ポイント①

1日も早いなりわい再生のための
護岸の早期復旧・再整備



護岸と旅館建物の復旧等を同時に進めることで、**温泉地域全体の復旧工事期間をできる限り短縮。**

ポイント②

和倉温泉の**魅力の維持**



可能な限り護岸の高さを変えずに復旧・再整備することで、**眺望に配慮。**

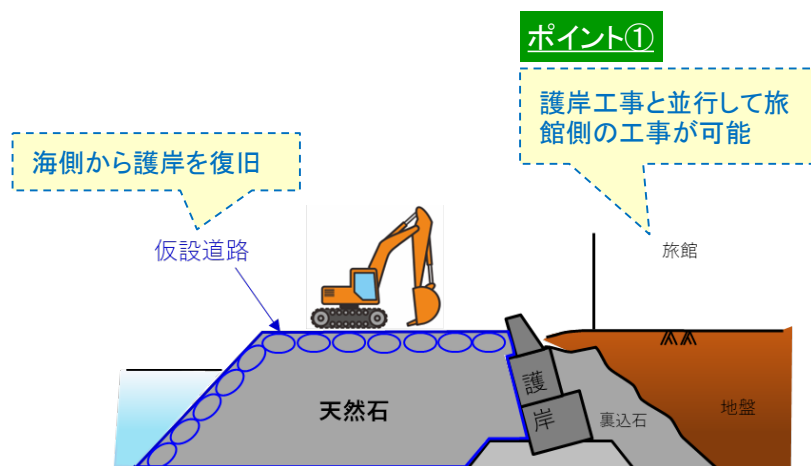
ポイント③

周辺の**環境に配慮**

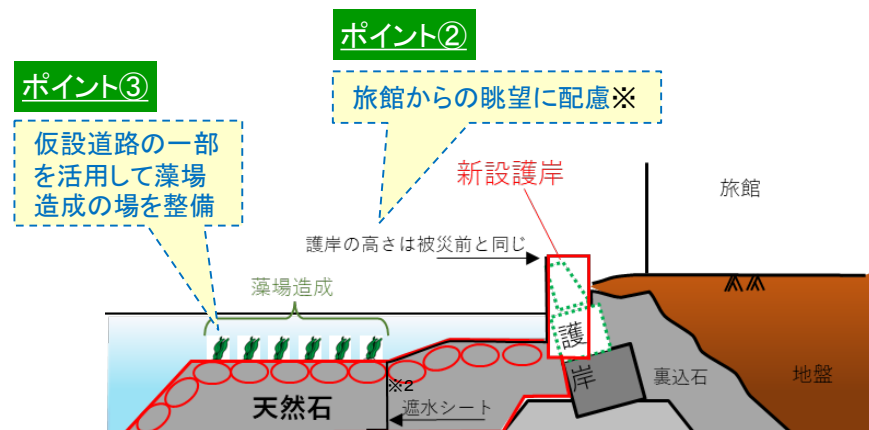


天然石を使用し、護岸を藻場造成の場として活用することで、**水産振興にも寄与。**

【工事中(イメージ図)】



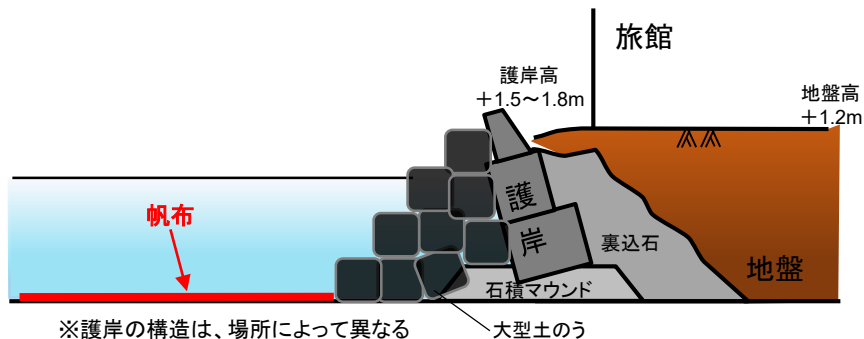
【復旧等完了後(イメージ図)】



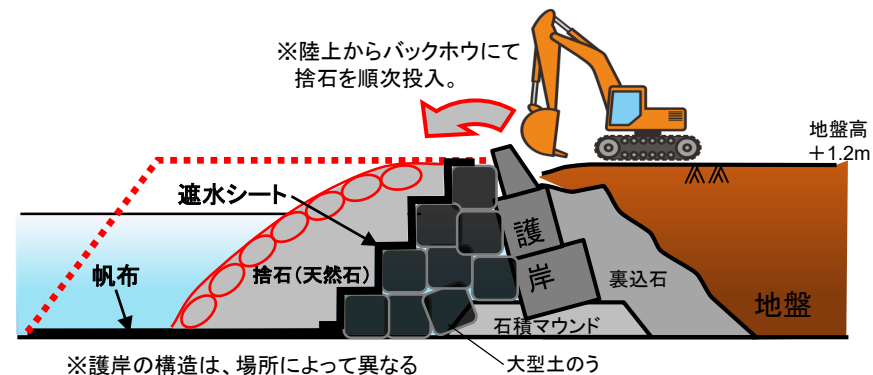
※ 護岸の海側に上図のような浅い場所を設けることで、荒天時の陸域への越波量を減少させることが可能。そのため、護岸を高くするのを避けることができることから、ポイント②の実現に寄与。

「仮設道路」施工手順

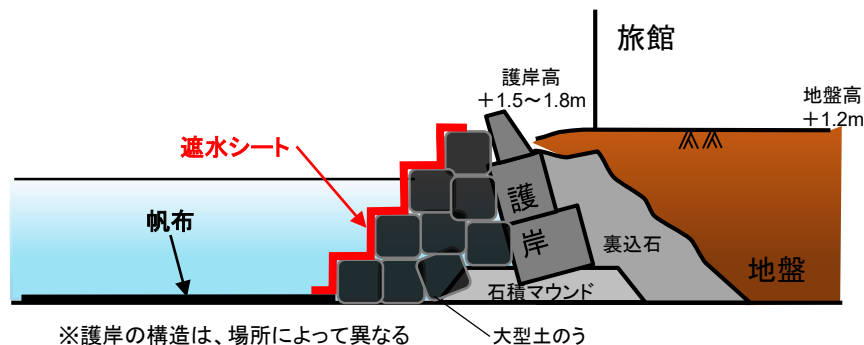
①帆布敷設



③捨石投入

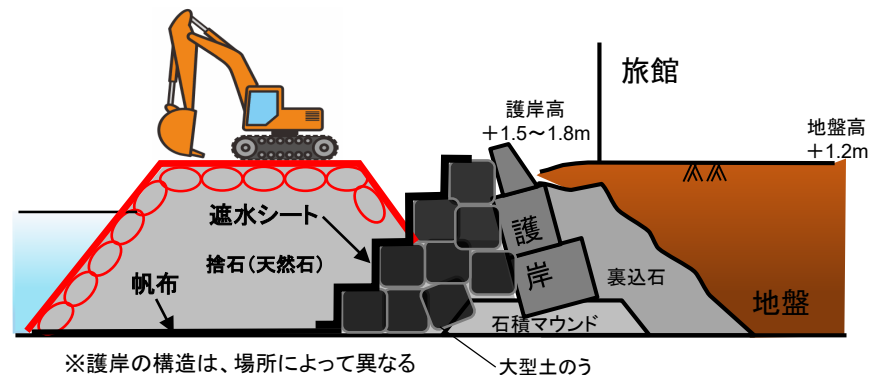


②遮水シート敷設



④仮設道路完成

※完成後、順次護岸の撤去・新設等を実施。

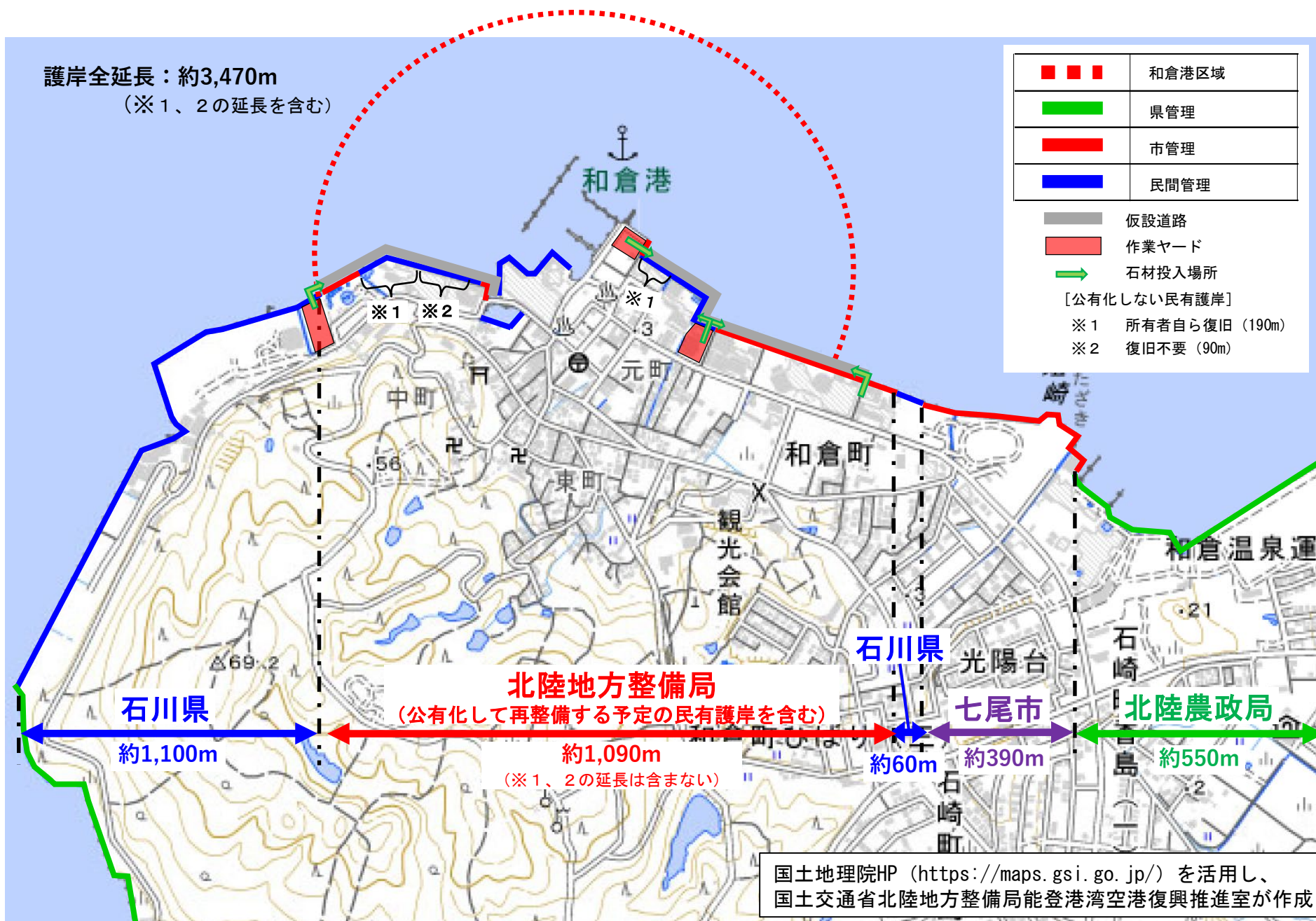


護岸復旧の整備主体

護岸全延長：約3,470m
(※1、2の延長を含む)

■■■	和倉港区域
■	県管理
■	市管理
■	民間管理

- 仮設道路
- 作業ヤード
- 石材投入場所
- [公有化しない民有護岸]
- ※1 所有者自ら復旧 (190m)
- ※2 復旧不要 (90m)



国土地理院HP (<https://maps.gsi.go.jp/>) を活用し、国土交通省北陸地方整備局能登港湾空港復興推進室が作成